

## 平成 29 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### I 委託事業の内容

#### 1. 研究開発課題名

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成 — 里山のチカラを世界へ —

#### 2. 研究の目的

##### (1) 研究開発の目的

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルを育成する。

〈目指す生徒像〉

- ◆ 将来のプロフェッショナルを目指し、主体的に学ぶ姿勢と学び方を身に付けている。
- ◆ 将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力を身に付けている。
- ◆ 郷土を愛し、地域や産業（農業）の発展に貢献しようとする意欲をもっている。
- ◆ 異なる文化や文明を理解し、視野を広げ、国際感覚を身に付けるとともに、他者と協働して新たな価値を創造できる。

##### (2) 研究開発の仮説

- プロフェッショナルの高度な知識や技術に触れることにより、将来の明確な目標を設定することができ、主体的に学ぼうとする態度を育むことができる。
- 生徒に身に付けさせる力を明確にし、適切な指導計画と指導方法（授業づくり）を確立することにより、生徒に、将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力を確実に身に付けさせることができる。
- 地域の伝統文化や産業に触れることにより、郷土を愛し、地域の発展に貢献しようとする意欲を育むことができる。
- 姉妹校の台湾国立関西高級中学と連携した交流学习を積極的に展開することにより、異なる文化や文明を理解させ、視野を広げ、国際感覚を身に付けさせるとともに、他者と協働して新しい価値を創造する力を育成することができる。

#### 3. 実施期間

契約日から平成 30 年 3 月 15 日まで

#### 4. 当該年度における実施計画

##### (1) 研究の概要

#### ア 地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成に関わる学習プログラムの開発と実践

##### (ア) 学習プログラムによって育成する資質・能力に関する研究

本研究開発の学習プログラムによって育成する資質・能力について、「マインドに関する領域」と「スキルに関する領域」の二つの視点から学習の目標を明確に設定し、生徒の成長や変容をアウトカム評価でとらえることができるよう評価の指標や方法について研究する。その際、イ（ア）の「キャリア教育の『基礎的・汎用的能力』に関する研究」との関連を図る。

##### a マインドに関する領域

アイデンティティの確立（自己の在り方・生き方、高い職業意識と規範意識、協調性、チャレンジ精神、郷土愛、異文化理解等）に関わる指導と評価の一体化について、情意領域の教育評価をブルーム・タキソノミーのカテゴリーや並行説モデル（京都モデル）で考え、学習プログラムによる生徒の情意領域の変容を評価し、学習プログラムの有効性を検証する。

##### b スキルに関する領域

将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力の習得に関わる評価の指標となる「庄実版スタンダード」（到達目標）について、改善・充実を図り、より実用的なものにする。また、「庄実版スタンダード」により、生徒の学習到達度を適切に評価できるよう「庄実版スタンダード」に基づき作成した評価基準（ルーブリック）を使用し、学習の質を学びの深さとしてとらえていく。その際、「改訂版タキソノミー」による教育目標の分類の考え方を参考にする。

##### (イ) 学校設定科目「地域農業探究」の開発と実践【1学年】

地域産業（農業）の創生に向けて、地域の農業や文化、歴史、農村生活等に関する学習内容の充実と指導方法の確立を図る。特に、地域におけるフィールドワークによる調査・研究（フィールドリサーチ）では、地域資源の発掘や地域の課題を発見する学習の充実を図り、地域資源の活用や保全、地域の活性化等について課題意識を高めるようにする。また、その課題意識が、2学年で学習する学校設定科目「農業実践研究」や3学年で学習する科目「課題研究」のプロジェクト活動につながっていくよう、科目間の系統性と学習内容を整理し、学校設定科目「地域農業探究」と「農業実践研究」及び科目「課題研究」のよりよい接続を図る。

##### (ウ) 姉妹校「国立関西高級中学」（台湾）と連携した交流学习【2学年】

グローバル化に対応するため、本校が姉妹校提携を結んでいる「国立関西高級中学」（台湾）と連携し、文化交流をはじめ、農業学習等について交流学习

を進める。具体的には、学校農業クラブの機関誌「立志」による本校での農業学習や行事等の情報提供、希望者を対象とした10日程度のホームステイによる「国立関西高級中学」の体験入学を実施する。また、本校の修学旅行（台湾）においては、姉妹校の生徒及び教師とのワークショップやフィールドワークによる交流学习を展開する。さらに、インターネットを利用したテレビ会議システム等を活用し、日常の授業における交流学习（遠隔授業）や学校農業クラブ活動等による日常的な交流を進める。

#### **(エ) 模擬農業法人の設立とそれを活用した農業経営学習【全学年】**

設立した模擬農業法人「庄実アグリカンパニー」の経営組織の体制を確立し、学校農場における農業生産をマネジメントするとともに、商品開発やブランドづくり（庄実版GAPの認証）、農産物・加工品の販売等の実践的な農業経営学習を展開する。また、これらの学習活動を教科の学習や学校農業クラブ活動等と関連付け、カリキュラムとして学校全体で農業経営学習を推進できるようにする。

#### **(オ) 産業界や継続教育機関等と連携した学習活動**

##### **a プロフェッショナルによる実践的な指導【全学年】**

高度な専門的知識・技術をもつ職業人（プロフェッショナル）の効果的な活用について、関係科目の学習内容とその指導の適時性を一体的に研究し、各学科の専門科目におけるプロフェッショナルの活用を、指導計画に的確に位置付ける。また、「プロフェッショナルによる実践的な指導」として、実技講習会や講義、講演会を実施するに当たっては、高度な知識や技術の習得のみならず、プロフェッショナルの仕事に対する勤労観や職業観、規範意識、倫理観等についても学び、将来のプロフェッショナルに向けてのロールモデルとなり、生徒のモチベーションを高め、主体的に学ぼうとする態度を身に付けさせる。

##### **b 産業現場や継続教育機関等における実習【2学年】**

「産業現場や継続教育機関等における実習」の実施については、各学科の専門性との関連を明確にし、各学科で学習する専門的な知識や技術の習得がより高まるよう派遣先との連携を綿密に図るとともに、事前指導や事後指導の充実を図る。また、望ましい勤労観・職業観を養うことができるようキャリア教育の視点を当該実習の学習目標に明確に位置付けて実施する。

##### **c 産業界や継続教育機関等との共同研究【2学年・3学年】**

科目「農業実践研究」や「課題研究」におけるプロジェクト活動では、地域産業（農業）の発展や地域の活性化、地域環境の保全等に向けて、それらの課題解決のため、積極的に産業界や継続教育機関等と連携した共同研究に取り組む。その際、科目「地域農業探究」のフィールドリサーチで発見した

課題等を積極的に取り上げる。そして、それらの課題解決に向けたプロジェクト活動を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、ハードルの高い課題にも果敢に挑戦するチャレンジ精神を身に付けさせる。

#### **d 地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」【全学年】**

将来、地域における農業経営者を目指す生徒を対象に、より高度な農業経営に関する研修会（講演会、先進地視察、技術講習会等）を実施し、将来の農業経営に関するビジョンやキャリアプランを明確にするとともに、将来のプロフェッショナルに向けてのモチベーションを高め、主体的に学ぼうとする態度を身に付けられるようにする。

### **イ 地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応したキャリア教育の充実に関する研究**

#### **（ア）キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究**

将来のプロフェッショナルを育成するに当たっては、社会で必要とされるキャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の4能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）と本校における教育活動のかかわりを見直し、教育活動を通して身に付く資質・能力を明確にするとともに、適切に到達目標及び評価基準を設定し、本校における教育活動を評価する。具体的には、本校の教育活動をキャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成の視点でとらえ、キャリア教育の全体計画『『プロフェッショナルへの道』（学びのサクセスストーリー）』の改善・充実を図る。

#### **（イ）指導の適時性に関する研究**

将来のプロフェッショナルを育成するために、高校の3年間における教育活動の効果的な学習プログラムの在り方について研究する。具体的には、キャリア教育の全体計画の中での学習プログラムのつながりを見直し、系統的・体系的な学習プログラムとなるよう指導の適時性に関する研究を進め、キャリア教育の全体計画『『プロフェッショナルへの道』（学びのサクセスストーリー）』の見直し・改善を図る。その際、本校で実施している「キャリアサポート講座」の指導内容及び指導方法等についても見直し・改善を図る。

#### **（ウ）「庄実版キャリアノート」の活用と充実に関する研究**

将来のプロフェッショナルへの道筋を明確にするため、「庄実版キャリアノート」の実用性の充実を図る。具体的には、個々の生徒が、自己の進路実現を目指して計画的に学習活動に取り組むための、羅針盤の機能をもたせたノートにしていく。また、本校での学習活動を通して、進路を実現していくために必要な戦略や情報を盛り込むとともに、生徒自身が学習計画や収集した情報等を記入することができ、かつ、自分自身が取り組んできたあゆみを振り返ることができる凝縮ポートフォリオとしての機能も盛り込むよ

う改善していく。さらに、生徒が、小学校・中学校・高等学校と持ち上がってきた「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続を図るとともに、継続教育機関（大学進学：7年間，専修学校等〔農業技術大学校〕進学：5年間）へもつながる「庄実版キャリアノート」となるよう内容の見直し・改善を図る。

## ウ 地域産業（農業）の創生とグローバル化に向けた連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築

### （ア）教育資源の発掘

地域にある「人」，「自然」，「文化」，「産業」等の教育資源を精力的に発掘し，それらのデータベース化を継続的に進めていく。そして，教材として日ごろの教育活動において手軽に活用できるようデータベースから情報内容をワンペーパーで取り出せるシステムを構築する。また，創立 108 年の歴史がある本校の教育資源についても再発掘し，有効に活用できるようデータベース化する。

### （イ）連携組織（教育ネットワーク）の構築

「学校設定科目『地域農業探究』」，「産業現場や継続教育機関等における実習」，「プロフェッショナルによる実践的な指導」，「産業現場や継続教育機関等との共同研究」等の学習プログラムを展開していくに当たり，連携・協力を得ることができる「人」，「事業所」等のリストアップを継続的に進め，連携組織（教育ネットワーク）の拡大・充実を図る。

### （ウ）地域における農業センターとしての機能化

本校にある「人」，「もの」，「技術」等の教育資源を積極的に地域に還元する仕組みを充実させ，地域における農業センターとしての機能化を図る。特に，学校農場については，農産物を生産している圃場が，地域の“手本”となるよう生産技術の向上と開かれた学校農場の整備に努めるとともに，本校の生徒が専門性を発揮して地域の方々へ情報発信できるよう指導体制の充実を図る。

#### a 農家対象の研修会

和牛産地ブランドの復興に向けて，「庄原市農業振興対策会議・畜産振興検討班」（庄原市農業振興課・庄原市農業協同組合・広島県北部畜産事務所・広島県北部農業技術指導所で組織）と連携し，「比婆牛ブランド復活プロジェクト」に取り組む。当該プロジェクトでは，「肥育牛の脂肪交雑推定装置」を用いた肉用牛の収益性の予測，出荷時期の判定及び飼育方法の見直し・改善を行い，その技術の普及に努める。

#### b 学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり

学校農場を一般に開放し，地域の住民や小・中学生等が，作物や家畜等を見学したり，作物の栽培を体験したりし，農業生物の生態や農業技術について学ぶことができる教育ファームづくりを進める。その際，小学校の「生活

科」や「総合的な学習の時間」、中学校の「技術・家庭」等の学習活動について連携・協力ができる態勢を整える。また、学校農場における取組内容等が分かる看板を各農場部門により効果的に設置し、本校の生徒が来校者に対して自信をもって説明できる態勢を整える。

**c 小・中学生を対象とした農業体験研修「庄実アグリキャンプ」の開催**

キャリア教育の一環として、長期休業中に小・中学生を対象とした農業体験「庄実アグリキャンプ」を充実させ、小・中学生の進路選択の一助にしてもらおう。昨年度、設立した模擬農業法人「庄実アグリカンパニー」の事業として「庄実アグリキャンプ」の企画・運営を行い、「庄実アグリカンパニー」のヒューマンサービス部門として活動していく。その際、科目「生物活用」等の授業で学習したことを十分に生かしていけるよう指導する。

**d 保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業の実施**

本校の生徒が習得した専門的な知識と技術を活用し、保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業を行う。本校の生徒は、園児や小・中学生に教えることを通して、自分自身の専門的な知識や技術のより一層の定着を図る。また、このような取組を通して、本校の教育内容を広く情報発信し、本校への入学を希望する生徒の増加につなげる。

**(2) 研究開発の目標**

**ア 研究開発の目標**

**(ア) 学習プログラムの実践と検証**

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できるプロフェッショナル人材の育成に向けた学習プログラムを開発するとともに、開発した学習プログラムを学校の教育活動（カリキュラム）に位置付けて実践・検証する。その際、専門的な知識と技術、実践力の習得に関する評価指標となる「庄実版スタンダード」（到達目標）の見直し・改善を進めるとともに、「庄実版スタンダード」に基づいた評価基準（ルーブリック）による指導と評価を行い、教育活動の充実を図る。

**(イ) キャリア教育の充実**

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応したキャリア教育の充実に向けて、将来のプロフェッショナルの育成に関わる「キャリア教育の『基礎的・汎用的能力』の指導と評価の一体化」、「指導の適時性の検証」、「『庄実版キャリアノート』の見直し・改善」に取り組み、学校の教育活動の基盤にキャリア教育を定着させる。

**(ウ) 連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築**

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッシ

ヨナルの育成に向けた連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムを構築・機能化させ、日ごろの教育活動において手軽に活用できるよう態勢を強化する。

### イ 定性目標・定量目標及び検証方法

生徒，教員，保護者及び協力者のアンケート調査（自己評価及び他者評価）や，記録簿・レポート等の作品及び資格取得状況等によって客観的に評価する。

#### （ア）定性目標

研究開発		定性目標	効果測定
●学習プログラムの実践と検証			
育成すべき資質・能力	マインドに関する領域	○自己の在り方・生き方，価値観・倫理観，協調性，チャレンジ精神，郷土愛，異文化理解等の向上	■アンケート調査 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品）
	スキルに関する領域	○専門的な知識と技術，実践力の習得	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■ペーパーテスト
学校設定科目「地域農業探究」の開発と実践	学校設定科目「地域農業探究」の開発	○学校設定科目「地域農業探究」の教材の充実	■作品法（成果物）
	学校設定科目「地域農業探究」の実践	○地域農業に対する興味・関心の向上 ○農業学習に対する意欲の向上	■観察法（行動，発言，発表） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・協力者等の満足度
		○地域農業の理解	■作品法（ノート，プリント，作品） ■ペーパーテスト
国立関西高 国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習	国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習の策定	○国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習の計画の充実	■作品法（計画書）
	国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習の実施	○海外の農業への興味・関心の向上 ○農業のグローバル化に対する課題意識とチャレンジ精神の向上	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・協力者等の満足度
		○専門的な知識と技術の習得	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■ペーパーテスト

模擬農業法人の設立とそれを活用した農業経営学習	模擬農業法人を活用した農業経営学習の内容の策定	○ 模擬農業法人を活用した農業経営学習の計画の充実	■ 作品法（計画書）
	模擬農業法人を活用した農業経営学習の実施	○ 農業経営に対する興味・関心の向上	■ 観察法（行動，発言，発表） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ アンケート調査 ・ 生徒の満足度 ・ 協力者等の満足度
		○ 専門的な知識と技術の習得	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ ペーパーテスト
産業界や継続教育機関等と連携した学習活動	プロフェッショナルによる実践的な指導の実施	○ 高度な知識と技術への興味・関心の向上 ○ 農業学習に対する意欲の向上	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ アンケート調査 ・ 生徒の満足度 ・ 協力者等の満足度
		○ 専門的な知識と技術の習得	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ ペーパーテスト
	「庄実版デュアルシステム」による派遣実習の実施	○ 産業界や継続教育機関等に対する興味・関心の向上 ○ 望ましい勤労観・職業観の醸成	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ アンケート調査 ・ 生徒の満足度 ・ 協力者等の満足度
		○ 専門的な知識と技術の習得	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ ペーパーテスト
	インターンシップの実施	○ 産業界や継続教育機関等に対する興味・関心の向上 ○ 望ましい勤労観・職業観の醸成	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ アンケート調査 ・ 生徒の満足度 ・ 協力者等の満足度
		○ 専門的な知識と技術の習得	■ 観察法（行動，発言，発表，実技） ■ 作品法（ノート，プリント，作品） ■ ペーパーテスト



	長期休業中を利用した先進地等における現場実習の実施	○産業現場や継続教育機関等に対する興味・関心の向上 ○望ましい勤労観・職業観の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> <li>■ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度</li> <li>・協力者等の満足度</li> </ul> </li> </ul>
		○専門的な知識と技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> <li>■ ペーパーテスト</li> </ul>
	産業界や継続教育機関等との共同研究の実施	○地域農業の各分野への課題意識と貢献意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> <li>■ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度</li> <li>・協力者等の満足度</li> </ul> </li> </ul>
		○専門的な知識と技術の深化・総合化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> <li>■ ペーパーテスト</li> </ul>
	地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」の実施	○夢や目標の実現に向けた実践力の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> <li>■ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度</li> <li>・協力者等の満足度</li> </ul> </li> </ul>
<b>●キャリア教育の充実に関する研究</b>			
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」	キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成に関する指導と評価の一体化	○キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケート調査</li> <li>■ 観察法（行動，発言，発表，実技）</li> <li>■ 作品法（ノート，プリント，作品）</li> </ul>
指導の適時性	教育活動の実施に係る効果的な時期と方法	○指導の適時性を踏まえた指導計画の充実 ○系統的・体系的な学習プログラムの確立	■ 作品法（計画書）
		○キャリアサポート講座の充実と機能化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度</li> </ul> </li> </ul>
「庄実版キャリアノート」の活用と充実	「庄実版キャリアノート」の作成と充実	○「庄実版キャリアノート」の改訂	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 作品法（キャリアノート）</li> <li>■ アンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の満足度</li> <li>・教員の満足度</li> </ul> </li> </ul>
	「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続	○「わたしのキャリアノート」（広島県版）との円滑な接続	■ 作品法（キャリアノート）
<b>●連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築</b>			

教育資源の発掘	教育資源の発掘（地域・校内）	○教育資源を発掘し、教材として活用できた	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度
連携組織（教育ネットワーク）の構築	連携組織（教育ネットワーク）の構築	○連携・協力していただけた「人」、「事業所」等のリストの充実	■作品法（リスト）
地域における農業センターとしての機能化	農家対象の研修会	○地域農業に対する課題意識の向上	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・協力者等の満足度
		○専門的な知識と技術の習得	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■ペーパーテスト
	学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり	○学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」を整備	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・来校者の満足度
	「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムの策定	○「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムの充実	■作品法（計画書）
	小・中学生を対象とした「庄実アグリキャンプ」の開催	○本校の生徒が中心となり、「庄実アグリキャンプ」を運営	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・参加者の満足度
保育所，小学校，中学校との交流学習や出前授業の実施	○保育所，小学校，中学校との交流学習や出前授業を実施	■アンケート調査 ・生徒の満足度（本校生徒・中学生等） ・教員の満足度（中学校等）	

〈定性目標の効果測定の方法〉

実施した事業実践の満足度については、下に示したように、評価の対象者を4段階で評価し、総合評価で「A」以上の評価レベルを得ることを目標とする。

評価の対象者	
①	事業実践に参加した生徒の満足度
②	事業実践に参加した生徒の保護者の満足度
③	事業実践の学習プログラムの開発に携わった教員の満足度
④	事業実践の学習プログラムの開発に携わった協力関係者の満足度

評価レベル（評価尺度）	
4	とても満足
3	満足
2	あまり満足できない

1	満足できない
---	--------

総合評価は、評価項目の合計点を次の「A」から「C」の3段階で評定する。

各事業実践について、評価項目（定性目標）が10項目あれば、  
最高値  $4 \times 10 = 40$   
最低値  $1 \times 10 = 10$  となる。

評定	数値	標準値
A	$30 \leq ( ) < 40$	35
B	$20 \leq ( ) < 30$	25
C	$10 \leq ( ) < 20$	15

(イ) 定量目標

研究開発		定量目標	効果測定
●学習プログラムの実践と検証			
育成すべき資質・能力	マインドに関する領域		
	スキルに関する領域		
学校設定科目「地域農業探究」の開発と実践	学校設定科目「地域農業探究」の開発		
	学校設定科目「地域農業探究」の検証	○郷土愛：80%以上 ○地域に対する理解：80%以上	■アンケート調査
国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習	国立関西高級中学（台湾）と連携した学習の内容の策定		
	国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学習の実施	○実用英語技能検定4級取得率：50% ○実用英語技能検定3級取得率：30% ○実用英語技能検定準2級取得率：5% ○異文化理解：80%以上	■資格取得状況（取得率）
模擬農業法人の設立とそれを活用した農業経営学習	模擬農業法人の設立		
	模擬農業法人を活用した農業経営学習の実施	○農業経営学習に対する関心・意欲：80%以上	■アンケート調査
産業現場や継続教育機関等と連携した学習活動	プロフェッショナルによる実践的な指導の実施	○専門的な知識・技術に対する関心・意欲の向上：80%以上	■アンケート調査
	「庄実版デュアルシステム」による派遣実習の実施	○実習に対する満足度：80%以上	■アンケート調査
	インターンシップの実施	○実習に対する満足度：80%以上	■アンケート調査
	長期休業中を利用した先進地等における現場実習の実施	○実習に対する満足度：80%以上	■アンケート調査

		○職業に対する意欲の高まり：80%以上	
	産業界や継続教育機関等との共同研究の実施	○専門分野に対する関心・意欲：80%以上	■アンケート調査
		○日本農業技術検定2級合格：60%以上	■資格取得状況（合格率）
	地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」の実施	○農業経営に対する関心・意欲：80%以上	■アンケート調査
		○農業簿記検定3級合格：60%以上	■資格取得状況（合格率）
<b>●キャリア教育の充実に関する研究</b>			
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」	キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成に関する指導と評価の一体化		
指導の適時性	教育活動の実施に係る効果的な時期と方法		
「庄実版キャリアノート」の活用と充実	「庄実版キャリアノート」の作成と充実		
	「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続		
<b>●連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築</b>			
教育資源の発掘	教育資源の発掘（地域・校内）	○新たに発掘した教育資源の数：5つ以上	■実施状況（発掘数）
連携組織（教育ネットワーク）の構築	連携組織（教育ネットワーク）の構築	○協力事業所等の数：各学科10事業所以上（新規）	■協力事業所数
地域における農業センターとしての機能化	農家対象の研修会	○専門分野に対する関心・意欲：80%以上 ○自己に対する有用感：80%以上	■アンケート調査
	学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり	○愛校心の醸成：80%以上 ○地域への貢献意欲：80%以上	■アンケート調査
		○学校農場の見学者数：60人以上	■参加者数
	「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムの策定		
	「庄実アグリキャンプ」の開催	○リーダーシップの高揚：80%以上 ○達成感：80%以上	■アンケート調査
		○「庄実アグリキャンプ」の参加者数：10人	■参加者数
保育所、小学校、中学校との交流学習や出前授業の実施	○交流学习や出前授業の実施回数：各学科3回以上	■実施状況（回数、日数等）	
	○リーダーシップの高	■アンケート調査	

		揚：80%以上 ○達成感：80%以上	
--	--	-----------------------	--

### (3) その他

#### ア 研究開発の取組に関する情報発信

S P H事業の取組状況については、本校のW e bサイトに専用のW e b ページを設け、研究開発の取組内容を随時掲載し、情報発信する。また、全国規模のコンクールや発表会等にも積極的に参加し、S P H事業の取組内容を情報発信する。

研究開発の成果報告については、12月中旬に公開の「研究成果報告会」を開催し、県内外の関係高等学校及び教育関係者等に広く情報発信する。また、研究成果報告書を作成し、全国農業高等学校長協会の理事校へ配付するなど、研究成果の普及に努める。

## 5. 実施体制

### (1) 運営指導委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
入船 浩平	県立広島大学生命環境学部 生命科学科・教授 フィールド科学教育センター長	委員長（座長），指導助言 生物科学（分子生物学）
藤原 信孝	庄原農業協同組合・代表理事組合長	指導助言，農業の振興
尾上富見男	広島県立農業技術大学校・校長	指導助言，農業
久保田憲司	産業技術短期大学・講師	指導助言，キャリア教育
島津 宏	庄原市指導農業士会・会長	指導助言，農業経営
加藤 伸哉	広島県農林水産局 販売・連携推進課・課長	指導助言，農業政策
佐々木 満	庄原市商工会議所・会頭	指導助言，産業の振興
松永 幹司	庄原市農業振興課・課長	指導助言，農業政策
松岡洋一郎	アサヒグループホールディングス 株式会社 アサヒの森環境保全事務所・所長	指導助言，森林保全，環境教育
村田和賀代	県立広島大学生命環境学部 生命科学科・准教授	指導助言，農業経済学
山内文雄	社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会・会長	指導助言，社会福祉の振興
阿部由貴子	広島県教育委員会事務局 教育部高校教育指導課・課長	指導助言，教育行政

## (2) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
黒川 元治	教諭	◎研究開発主任（事業統括）・教科「農業」（食品工学）
金谷 智範	教諭	○研究開発副主任・教科「農業」（環境工学）
石田 正己	教諭	○事業推進部長・教科「外国語」（英語）
青木 康裕	教諭	○学習プログラム開発部長・教科「外国語」（英語）
堂前 克己	教諭	○キャリア教育推進部長・教科「数学」
曾根田 喜久夫	実習助手	○教育ネットワーク構築部長・教科「農業」（食品工学）
藤川 浩	教諭	○事業推進副部長・教科「農業」（食品工学）
辻 貞義	事務主幹	○事業推進副・事務
徳永 隆志	教諭	○学習プログラム開発福部長・教科「農業」（生物生産学）
繁山 信治	教諭	○キャリア教育推進副部長・教科「農業」（環境工学）
板垣 哲司	教諭	○教育ネットワーク構築副部長・教科「農業」（生物生産学）
河野 恵子	教諭	事業推進部・教科「国語」
藤田 美穂	教諭	事業推進部・教科「国語」
古本 来美香	教諭	事業推進部・教科「芸術」
梅木 一郎	教諭	事業推進部・教科「農業」（食品工学）
中本 友美	教諭	事業推進部・教科「農業」（食品工学）
大岡 廉	実習助手	事業推進部・教科「理科」
見田 豊	実習助手	事業推進部・教科「農業」（生物生産学）
倉岡 喜史	事務主幹	事業推進部・事務
田淵 和子	事務主幹	事業推進部・事務
時安 亮	主事	事業推進部・事務
菟原 智行	教諭	学習プログラム開発部・教科「数学」
山重 敬一	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
森藤 太	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
前田 奈緒里	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（食品工学）
植木 豊	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（環境工学）
河内 康弘	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（環境工学）
大畠 優子	教諭	学習プログラム開発部・教科「家庭」（生活科学）
大石 結加	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生活科学）
木村 優稀	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生活科学）
山本 円	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生活科学）
妹尾 臣昇	実習助手	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
森 貴子	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
益田 圭	実習助手	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
ジョセフ・ベネット	ALT	学習プログラム開発部・教科「外国語」（英語）
染谷 祐樹	教諭	キャリア教育推進部・教科「国語」
篠原 凡	教諭	キャリア教育推進部・教科「地理歴史・公民」

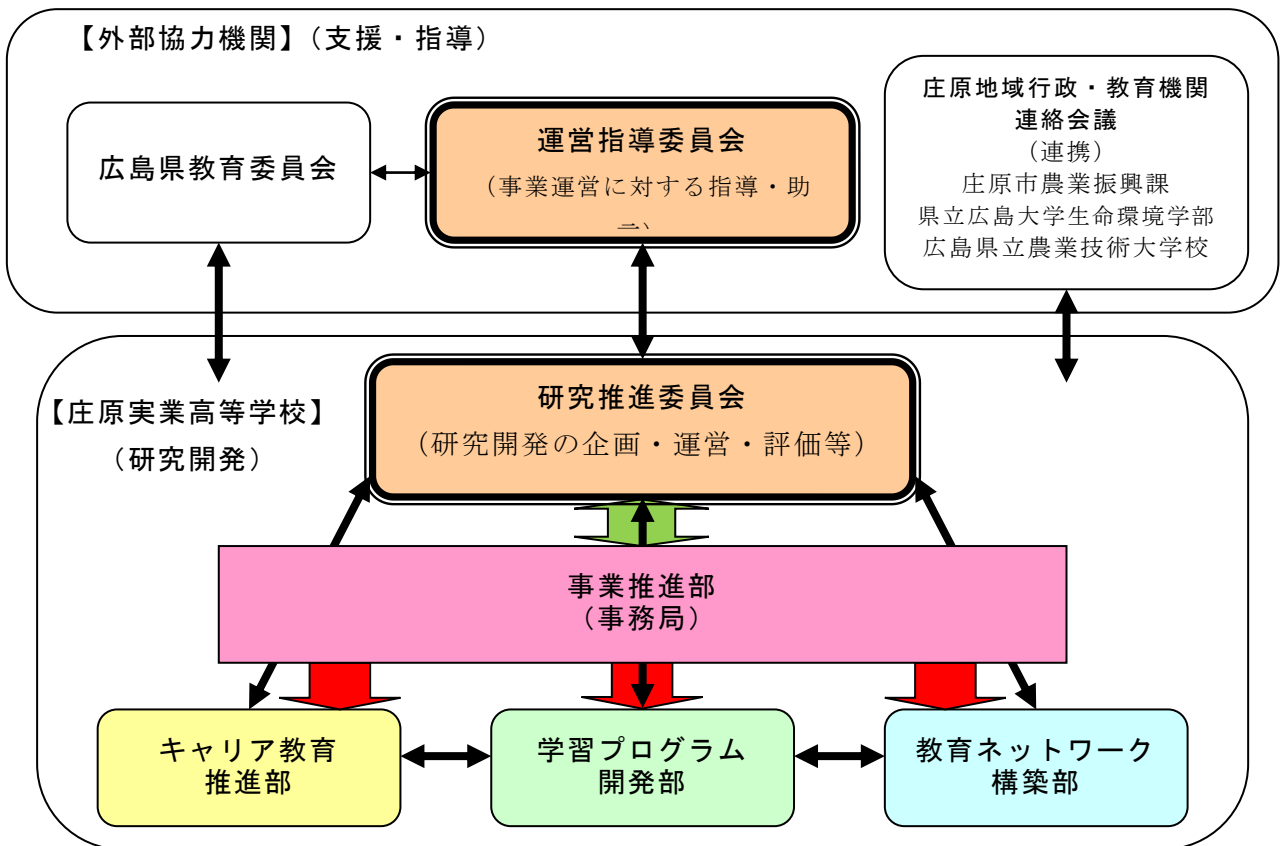
小川 裕子	教 諭	キャリア教育推進部・教科「地理歴史・公民」
大平 慎一	教 諭	キャリア教育推進部・教科「理科」
飯塚 香織	教 諭	キャリア教育推進部・教科「理科」
出口 彰	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
佐々木 光流	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
佐藤 直美	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
宮地 結加	教 諭	キャリア教育推進部・教科「家庭」(生活科学)
赤木 由美	教 諭	教育ネットワーク構築部・教科「家庭」(生活科学)
久保 秋登	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(生物生産学)
佐伯 光緒	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(生物生産学)
門永 万実	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(生物生産学)
信清 秀夫	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(環境工学)
渡部 さゆり	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「家庭」(生活科学)
宮本 妙子	養護教諭	教育ネットワーク構築部・養護

### (3) 研究推進委員会

氏 名	所属・職名	役割分担・専門分野等
澤井 晃	広島県教育委員会事務局教育部 高校教育指導課・指導主事	指導助言・教科「農業」
八幡 茂見	広島県立庄原実業高等学校・校長	相談役・教科「地理歴史・公民」
森多 浩文	広島県立庄原実業高等学校・教頭	相談役・教科「保健体育」
増原 祐子	広島県立庄原実業高等学校・ 総括事務長	相談役・事務
黒川 元治	広島県立庄原実業高等学校・教諭	◎研究開発主任(事業統括)・ 教科「農業」
金谷 智範	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○研究開発副主任・教科「農業」
石田 正己	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○事業推進部長・教科「外国語」 (英語)
青木 康裕	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○学習プログラム開発部長・ 教科「外国語」(英語)
堂前 克己	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○キャリア教育推進部長・ 教科「数学」
曾根田 喜久夫	広島県立庄原実業高等学校・実習 助手	○教育ネットワーク構築部長・ 教科「農業」
藤川 浩	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○事業推進副部長 教科「農業」
辻 貞義	広島県立庄原実業高等学校・ 事務主幹	○事業推進副部長・事務
徳永 隆志	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○学習プログラム開発副部長・ 教科「農業」
繁山 信治	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○キャリア教育推進副部長・ 教科「農業」
板垣 哲司	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○教育ネットワーク構築副部長・ 教科「農業」



(4) 研究推進体制



## 6. 研究内容別実施時期

※実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資質・能力に関する研究				スタンダード活用①				スタンダード活用②	評価発表			
「地域農業探究」の開発と実践（フィールド・リサーチ）			準備	準備	実施・評価			ポスター作成	発表			
国立関西高級中学（台湾）との交流学习	農ク機関誌「立志」の送付，会議システムを利用した交流学							準備	実施発表			
模擬農業法人の設立と農業経営学習	申告	納税	計画立案	庄実版GAPによる農産物・加工品の認証，販売活動							評価	
プロによる実践的な指導		準備	実施	評価		準備	実施	評価				
産業現場等での実習		準備	準備	実施	評価	発表						
産業界等との共同研究	研究課題設定	計画立案	準備	実施・評価			論文作成	発表	発表			
農業未来塾		準備	実施①	評価		準備	実施②	評価	準備	実施③	評価	
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究	アンケートの実施①								アンケートの実施②	評価		
指導の適時性に関する研究	教育活動の実施時期の評価・検証及び見直し・改善								発表			
キャリアノートに関する研究	ノートの使用・評価					ノートの使用・評価				発表	ノートの使用・評価	
教育資源の発掘	教育資源の随時発掘								発表			
教育ネットワークの構築	教育資源のデータベース化								発表			
農家対象の研修会	肉用牛の脂肪交雑の測定，農家へのデータの還元								発表			
「庄実教育ファーム」づくり	児童等との交流学习					児童等との交流学习				評価発表		
庄実アグリキャンプ		準備	準備	実施評価								
保育所，小・中学校との交流学习・出前授業		準備	実施	評価		準備	実施	評価	発表			
運営指導委員会		開催①							開催②			
研究推進委員会	開催①		開催②		開催③		開催④		開催⑤			
情報発信	随時，Webページの更新により情報発信											

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交 付 者	交 付 額	交 付 年 度	業 務 項 目
なし	なし	なし	なし	なし

8. 知的財産権の帰属

- (      ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。  
(   ○   ) 2. 知的財産権はすべて文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無      有   ・   ( 無 )

Ⅱ 委託事業経費

別紙1に記載

Ⅲ 事業連絡窓口

別紙2に記載